

# 2017年度の事業報告と決算報告

2018年1月19日

日本機械学会関東支部シニア会会長

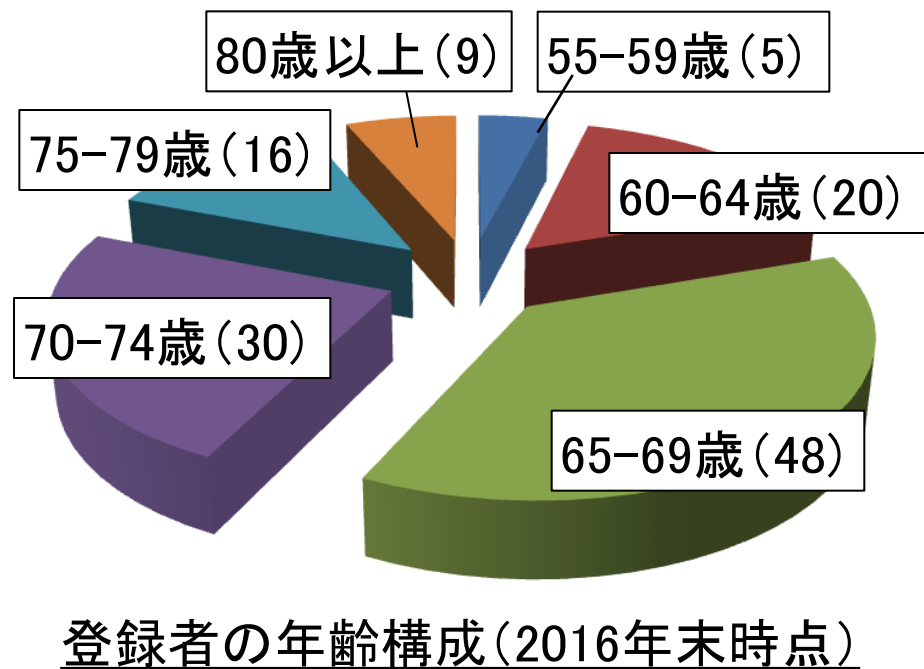
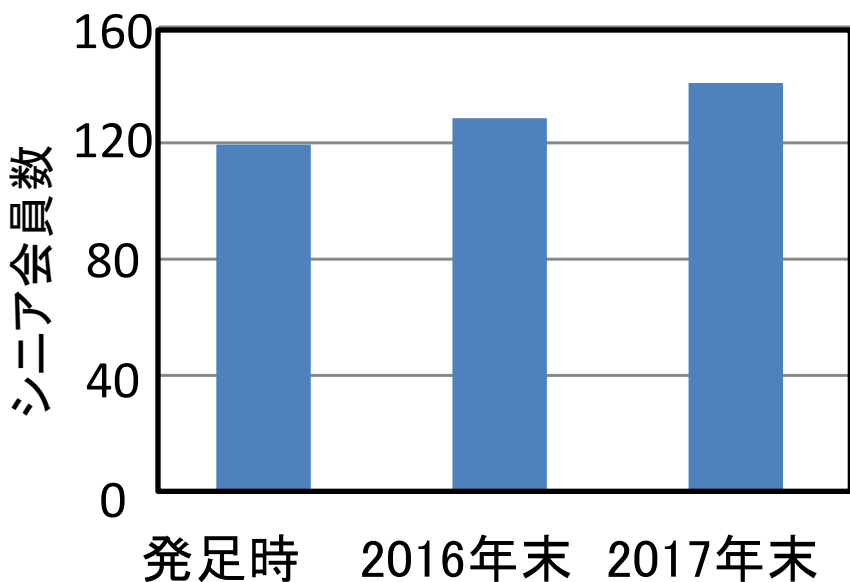
本阿弥 眞治

1. 関東支部シニア会登録者の現状
2. 2017年度運営委員会構成
3. 2017年度の事業計画
4. 2017年度の事業報告一覧
  - 4.1 学生員卒業研究発表講演会にコメンタータを派遣
  - 4.2 おもしろメカニカルワールドへの企画参加
  - 4.3 関東地区ものづくり企業への技術支援の仕組み検討
  - 4.4 シニア会第1回見学会の開催
  - 4.5 シニア会第2回見学会の開催
  - 4.5 関東学生会との出前交流会の開催(茨城地区)
  - 4.6 関東学生会との本部交流会の開催
  - 4.7 シニア会第1回特別講演会の開催
5. 関東支部シニア会規則の改定案
6. 関東支部シニア会決算報告(暫定版)
7. 2018年度関東支部シニア会運営委員会の体制案

# 関東支部シニア会登録者の現状

1. 55歳以上の関東支部会員に2015/5/25日付でシニア会設立趣意書と登録依頼メールを発送(締切は2015/6/30日)
2. 現状の登録状況は下記
  - ・シニア会会員登録者は設立準備総会時点で119名  
2016/12/31時点で128名, 2017/12/31時点で140名
  - ・年齢構成は60歳代後半が最多, 70歳代前半, 60歳代前半の順
  - ・地域構成は神奈川, 東京が多く, 千葉, 茨城, 埼玉の順
3. 課題

**シニア会の高齢化対策と登録者増加に向けて継続的な勧誘が必要!**



# 2017年度運営委員会構成

4/21

役 職	氏 名	所 属
委員長	本阿弥 眞治	東京理科大学 名誉教授
副委員長	中山 良一	工学院大学 教授
幹事	村上 俊明	元 日本機械学会アドバイザー
委員	嶋原 正義	関東経済産業局中小企業ビジネス創造 支援事業専門家
委員	高橋 昭夫	(株)コンサルティング代表取締役
委員	鎌田 祐一	UDトラックス(株)パワートレインエンジニアリング
委員	野口 昭治	東京理科大学 教授
委員	鈴木 栄二	小山工業高等専門学校 教授
監事	山本 誠	日本機械学会関東支部 第24期副支部長 東京理科大学 教授
支部担当幹事	渡邊 鉄也	日本機械学会関東支部 第24期会員担当幹事 埼玉大学 教授

担当職員：滝本 真也(関東支部事務局)

## 1. シニア会総会・運営委員会

当該年度の活動成果ならびに次年度の計画について報告し決定，付帯行事として講演会・懇親会を開催する

また，会務の企画・運営のために3か月に1回を目途に運営委員会を開催する

## 2. 支部活動に対する支援

### 1) 関東学生会卒業研究発表講演会への参加

第56回(2017/3/16, 東京理科大学葛飾キャンパス, 19講演室)講演会へコメンテータとして参加し，学生との交流を図る(全室への配置)

### 2) 理工系教育支援への参加(2017/8/1, 8/2)

関東支部「機械の日」イベントの一つである「おもしろメカニカルワールド」(国立科学博物館)にシニア会として出展を企画し実施する

## 3. 企業に対する技術支援(随時)

関東地区のものづくり企業への技術支援活動を実施する(内容・方法などについては運営委員会で継続議論)

## 4. 見学会・情報交流サロン(第1回5月22日, 第2回10月/11月予定)

特徴のある中小・中堅企業や研究機関の見学会, これに合わせて, シニア会員の情報交流会の年1回程度の開催を検討する

## 5. 学生会との交流会

昨年度と同様の本部交流会に加えて, 出前交流会を開催する(11月/12月)

## 6. その他新企画

特別講演会を企画し開催する(9月予定)

# 2017年度事業報告一覧

6/21

2017年3月	学生員卒業研究発表講演会19会場に24名のコメンテータを派遣
5月	第1回見学会(日本精工(株)とAKS東日本(株), 参加者21名)
6月	第1回シニア会運営委員会(本年度活動方針, 新企画案などを審議)
8月	おもしろメカニカルワールドへの企画参加(「歩行するロボットを作ってみよう」をテーマにシニア会メンバー8名が指導, 小学生77名が参加)
10月	①過去の革新技術, ②関心が高い今の技術, ③未来の社会構造に大きな影響を及ぼす技術などをテーマに講演会を開催, 50名が参加
10月	第2回シニア会運営委員会(見学会, 学生会との交流会などを審議)
10月	第2回見学会(ヴェルニー記念館と海洋研究開発機構, 参加者13名)
11月	学生会との出前交流会(茨城地区, シニア会講師2名, 学生103名)
12月	学生会との本部交流会(学会本部, シニア会講師4名, 学生7名)
12月	企業に対する技術支援に向け関東経済産業局中小企業課を訪問(運営委員4名), その他, 都内の中小企業支援団体との連携模索
12月	第3回シニア会運営委員会(今年度の活動成果, 来年度の体制と事業計画案, シニア会規則の改定案などを審議)
2018年1月	関東支部シニア会総会を開催(本日)

# 学生員卒業研究発表講演会にコメンテータを派遣(1/2)

7/21

日 時: 2017年3月16日(木) 9:15~15:00  
 場 所: 東京理科大学葛飾キャンパス(東京都葛飾区)  
 講演室配置:

講演室	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
AM1 9:15~ 10:30	流体5	流体5	流体5	熱5	熱5	動エネ2 エンジ ン1 熱1	機力4	機力5	材料5	材料5	材力5	材力5	マイク ロ5	産業1 情報1 バイオ3	バイオ5	ロボ5	ロボ5	ロボ5	機素4
AM2 10:45~ 11:45	流体4	流体4	流体4	熱4	熱4	エンジ ン4	機力4	宇宙4	材料4	材料4	材料4	材力4	マイク ロ4	バイオ3 情報1	バイオ4	ロボ3 情報1	ロボ4	ロボ4	機素4
PM1 12:30~ 13:45	流体5	流体5	流体5	熱5	熱4	熱4	機力5	宇宙3 機力2	材料5	材料5	生加4	材力4	マイク ロ5	バイオ5	計算力 学1 バイオ4	環境5	情報1 ロボ4	ロボ5	機素5
PM2 14:00~ 15:00	流体4	流体3 スポー ツ1	流体4	熱4	熱4	交通4	機力4	宇宙4	材料4	材料4	生加4	材力4	マイク ロ4	バイオ4	機力2 バイオ2	スポー ツ4	ロボ4	ロボ3 計算力 学1	設計4
コメン テータ	1名	1名	1名	1名	2名	2名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	2名	2名	2名	1名	1名

発表内容は部門に相当する内容でセッション分け, 後半の数字は講演数  
 生加: 生産加工, 情報: 情報・知能・精密機械, マイクロ: マイクロ・ナノなど

19室に24名のコメンテータが参加  
 (控室・昼食用意, 聴講無料, 旅費支給なし)

## (コメンテータ感想・意見の抜粋)

### 1. 発表の様子

論文は要領よくまとめ発表も上手, 学生の発表のスキルが上がっている  
研究の位置付け, 背景, 目的などの説明・理解が疑問の発表もあった  
研究室の成果ではなく自ら行い工夫したこと, 得たことなどを発表の中心とすべき

### 2. 質問の様子

審査員, コメンテータ, 司会者など質問は活発であるが学生からの質問は少ない  
今後の展開を考えてない学生も何人か見られ, 研究成果の理解度に個人差ある  
事業経験者(コメンテータ)からの情報提供や提言などは有用と思われる

### 3. 次年度に向けた意見

講演数も多く発表範囲も広いので一室に複数のコメンテータが配置できれば良い  
専門性を考慮した配置が次年度の課題(シニアの多くの方に参加頂ければ可能)  
エンカレッジする質問も良いが本質的・厳しい質問もあっても良い

### 4. その他

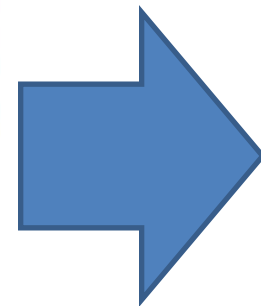
司会者からコメンテータ在室と紹介(丁寧すぎるとの意見)あり質問しやすかった  
講演キャンセルが目立ち, その場合の運営方法(繰り上げの可否)に工夫が必要  
所属機関のないコメンテータへの旅費支給があると良いのだが  
学生と懇談やもう少しつつこんだ意見交換ができる場があれば良い



# おもしろメカニカルワールドへの企画参加

9/21

- 日時 : 2017年8月1日(火)/8月2日(水)  
場所 : 国立科学博物館  
内容 : 小学生を対象として「歩行するロボットを作ってみよう」を  
関東支部の1ブースとして出展  
タミヤ社の「メカ・キリン」「メカ・タイガー」が題材  
指導メンバー: シニア会指導メンバーを昨年度の6名から8名に増員して指導



詳細は  
中山副会長の  
講演参照

## (経済産業省 関東経済産業局訪問)

日時 : 2017年12月15日(金) 10:00~11:00, 場所 : 関東経済産業局  
対応者 : 中小企業課 今井課長, 中村係長, シニア会運営委員会メンバー4名  
内容 :

- 1) 日本機械学会の特に中小企業支援活動, 関東支部シニア会活動について説明
- 2) 中小企業の課題は, ①事業継承, ②ITの活用(生産性向上), ③人手不足対応
- 3) 経済産業省との連携の切り口は3つの視点  
①直接受託(今は難しい), ②支援拠点を紹介, ③マネジメントメンター制度
- 4) 支援拠点としては, よろず支援拠点(埼玉と連携中)や地域金融機関(第6項), 信用保証協会などがねらい目か
- 5) 機械学会が支援機関として国の認定を受け, 地域プラットフォーム構成機関の一員となればミラサポなどの国の専門家派遣制度などのハンドリングができる
- 6) マネジメントメンター制度の活用(H28年度は交流会27回, 企業数450社)
  - ・地域の金融機関(信金など)が中小企業のヒアリングを実施し課題を抽出
  - ・関東経済産業局はその課題一覧を登録マネジメントメンターに送付
  - ・マネジメントメンターは支援を希望する中小企業者との交流会に参加
  - ・双方が合意して支援を開始(国や自治体の専門家派遣制度の活用や個別契約)

昨年10月中旬にシニア会員全員にメールするも新たな登録者は数名程度

→ シニア会員の積極的な登録をお願いします

[http://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/chushokigyo/management\\_mentor.html](http://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/chushokigyo/management_mentor.html)

# シニア会第1回見学会の開催

11/21

日時 : 2017年5月22日(月) 13:00~17:00, その後, 湘南台駅周辺で懇親会  
場所 : 日本精工株式会社直動技術センター, AKS東日本株式会社の2か所  
参加者 : 見学会 21名, 懇親会 18名

## 1. 日本精工株式会社直動技術センター(13:00~15:00)

国内No.1シェアのベアリングのグローバルカンパニーであり, 高速化静音化, 運動誤差低減, 低発熱化, 制御性・耐久性の向上などをキーワードとし, 部品メーカーから新しい価値の創造に向けた企業への飛躍を目指した取り組みに感銘

## 2. AKS東日本株式会社(15:00~17:00)

天辻鋼球製作所との合併で設立され日本精工(株)向けの鋼球を製造, 製造工程を詳細に見学し, 昔からのノウハウの積み重ねで高精度を確保するなど製造技術の高さに感銘(最近では省人化, 省資源化, 環境調和性の向上などにも注力)



日本精工株式会社



AKS東日本株式会社

# シニア会第2回見学会の開催

12/21

日時：2017年10月27日(金) 12:30～16:00, その後, 追浜駅周辺で懇親会  
場所：横須賀ヴェルニー記念館, 海洋研究開発機構(JAMSTEC)の2か所  
参加者：見学会 13名, 懇親会 12名

## 1. 横須賀ヴェルニー記念館(12:30～13:10)

横須賀製鉄所を創設し日本の近代工業化の基礎を作ったヴェルニーの功績を称える記念館で, 現存する0.5/3トンのスチームハンマー(日本機械学会機械遺産)を見学し, 江戸末期から明治維新期の先人たちの足跡と先見性に感銘

## 2. 海洋研究開発機構(14:30～16:00)

深海潜水艇の開発や海洋資源探査など海洋研究開発, 地球物理研究開発のための研究機関であり, 潜水調査船, 探査機などを見学, 特に点検に入った「深海6500」の実艇を間近で見学できたのは感動したとの感想



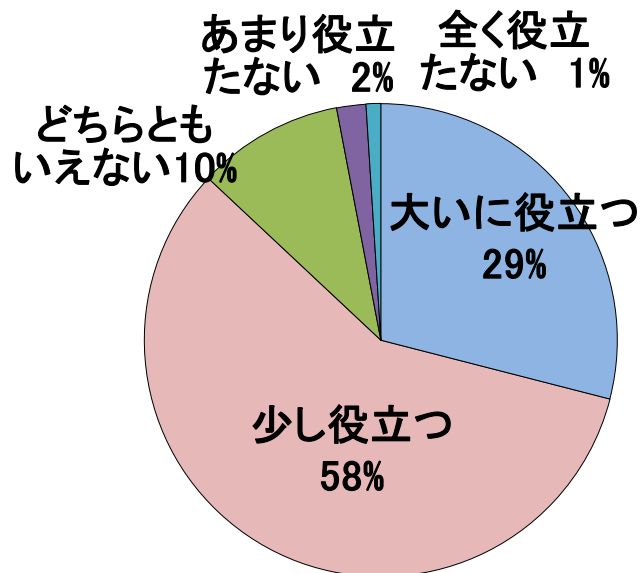
3トンスチームハンマー



しんかい6500実艇

昨年度の本部での交流会で学生員の出席に制約がある(交通費自己負担など)ことが懸念されたため、今年度は本部交流会に加えてシニア会講師が各ブロックに出向く出前交流会を計画し第一回を茨城大学で実施

- 日時 : 2017年11月22日(水) 13:00~15:00 茨城大学工学部  
13:00~13:05 増澤工学部副学部長挨拶  
13:05~13:15 関東学生会活動紹介  
13:15~14:35 笠井 憲一講師(元日立製作所), 中山 良一講師(元東芝)の講演  
14:35~15:00 各講師と参加学生の質疑応答
- 出席者 : 学部学生 83名, 大学院学生 20名
- アンケート : 学生会の参加者も多く質疑応答も活発  
アンケート結果からも出前交流会の意義を確信した



笠井講師



中山講師

# 関東学生会との本部交流会の開催

14/21

出前交流会に加えて日本機械学会会議室で本部地区の交流会を開催

1. 日時・場所 : 2017年12月6日(水) 13:30~18:00 日本機械学会会議室  
13:30-15:30 航空機・宇宙/材料/ロボット/プラント設計4分野から講演  
航空機・宇宙分野 橋本 良作 講師(元 宇宙航空研究開発機構)  
材料 野口 幸雄 講師(元 新日本製鐵(株))  
ロボット 中山 良一 講師(元 (株)東芝)  
プラント設計 藤川 卓爾 講師(元 三菱重工業(株))  
15:30-16:30 各講師を囲んだ質問・交流会  
16:30-18:00 懇親会
2. 内 容 : 大学時代に身につけておくべきエンジニアの資質(キャリアパス含む)
3. 出席者: 学生 7名
4. 課 題 : **今年も本部地区では参加学生が少なく参加者増が今後の課題**



橋本 講師



野口 講師



中山 講師



藤川 講師

# シニア会第1回特別講演会の開催

15/21

日時 : 2017年10月4日(水) 14:00~17:00  
場所 : 東京理科大学 森戸記念館 第一フォーラム  
参加者 : 本会会員 50名(うち, シニア会会員約半数)

## 1. 趣旨

過去/現在/そして未来のそれぞれの時代を画す技術や話題をシリーズで取上げ  
第1回は下記2件の講演

- ・「万年時計に込められた田中久重の想い」 久保田 裕二(機械学会常勤理事)
- ・「空の産業革命をもたらすドローンの未来」  
野波 健蔵(ACSL CEO, 元千葉大学理事・副学長)

## 2. アンケート結果

- ・ 皆さんから「非常に良かった」「興味深かった」「素晴らしい企画」と高い評価
- ・ 今後, たたら製鉄/日本刀の製造技術(過去), IoT社会と機械技術/EVの進化(現在), AI/自動運転(将来)などの講演希望(懇親会の希望もあり)
- ・ 毎年, 継続して企画・実施し, シニア会行事として定着を図る



久保田講師



野波講師



会場の様子

(名称)

第1条 本会は日本機械学会関東支部（以下、支部）シニア会という。

(目的)

第2条 シニア会は会員相互の親睦・交流ならびに情報交換を図ると共に、学生・生徒や技術者への協力・支援を通じて、シニアの持つ経験、技術、知恵の継承に努めることにより、支部活動の支援や会員増強など、支部の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 シニア会は前条の目的を達するために次の事業を行なう。

- (1) シニア会総会、学生会との交流会、企業の技術者との交流会の開催。
- (2) 支部・学生会の要請による講師等の派遣、講習会等の企画・開催、小・中・高校生の理工系教育支援、ものづくり人材育成支援。
- (3) 中小企業に対する経営・技術支援。
- (4) その他シニア会の目的に沿う活動。

(事業年度)

第4条 シニア会の事業年度は3月1日から翌年2月末日までとする。

(会員)

第5条 満60歳以上の支部会員でシニア会会員登録をした者をもってシニア会会員とする。

2. シニア会会員は、シニア会に届出ることにより退会することができる。
3. 下記第7条の運営委員会が認めた者は、満60歳未満の者であってもシニア会会員とすることができる。
4. 下記第7条の運営委員会構成員は、満60歳未満の者であってもシニア会会員とする。

(組織)

第6条 シニア会は支部の下で活動する。

2. シニア会は重要な会務の処理のため運営委員会を設ける。
3. シニア会は事業の実施のため実務委員会を設けることができる。



(運営委員会)

- 第7条 運営委員会構成員は、会長1名、副会長若干名、幹事1名、運営委員(役職なし)若干名、監事1名、支部シニア会担当幹事1名、学生会担当幹事1名とする。なお、必要に応じて顧問を置く。
2. 運営委員会構成員は、シニア会会員の中から~~支部運営会~~シニア会運営委員会で選任し、支部運営会で承認する。ただし監事、支部シニア会担当幹事、学生会担当幹事は、支部運営会役員の中から支部運営会で選任する。また~~運営委員(役職なし)のうち若干名は、支部会員の中から支部運営会で選任する。~~
3. 会長は運営委員会構成員の互選により、副会長、幹事は運営委員会構成員の中から会長の指名により選任する。
4. 運営委員会構成員の任期は2年とし、再任は1回までとする。ただし、監事、支部シニア会担当幹事、学生会担当幹事の任期は原則1年とし、再任は1回までとする。

5. 支部との連絡および支部運営会への報告は支部シニア会担当幹事が当たる。

(実務委員会)

- 第8条 実務委員会構成員は、シニア会会員の中から運営委員会で選任する。

(総会)

- 第9条 シニア会総会は毎年会長が招集し、諸般の報告および議事を行う。
2. シニア会総会はシニア会会員の過半数の出席で成立し、出席できない会員は書面をもって議決権を委任することができる。この場合は、あらかじめ通知した事項については出席者とみなす。
3. シニア会総会の議事は出席会員の過半数で決め、可否同数のときは議長がこれを決定する。

## (事業経費)

第 10 条 支部からの交付金および事業収入で支弁し、残額は支部会計に組み入れる。

## (事業計画および収支予算)

第 11 条 シニア会会長は毎事業年度の事業計画および収支予算を作成し、支部運営会で承認を得たのちに、2月末日までに支部長に提出しなければならない。

## (事業報告および決算報告)

第 12 条 シニア会会長は毎事業年度の事業報告および決算報告を作成し、シニア会監事の監査を受け支部運営会で承認を得たのちに、2月末日までに支部長に提出しなければならない。ただし、総会が事業年度終了以前の2ヶ月以内に開催されるときは直近の期日までの中間収支決算報告に期末における収支決算予測を加えて、当該事業年度の収支決算報告とすることができる。

## (契約形態)

第 13 条 特定団体・企業等の支援にあたっては、日本機械学会シニア会通則に従うことを原則とする。

## (規則の改正)

第 14 条 本規則の改正はシニア会総会で議決し、支部運営会の承認を得たのちに、支部総会で報告する。

## 附則

1. 本シニア会規則は 2016 年 3 月 10 日から施行する。
2. 2016 年 4 月 26 日一部改正
3. 2018 年 2 月 14 日一部改正 (予定)

# 関東支部シニア会決算報告(暫定版 2018.1.19現在)

## 収入の部

費 目	予算額	決算額	摘 要
支部からの補助金	200,000	200,000	
総会懇親会参加費	80,000	58,000	2,000 × 29名
合 計	280,000	258,000	

## 支出の部

費 目	予算額	決算額	摘 要
旅費交通費	30,000	27,948	
総会会場費	20,000	11,250	
総会懇親会費	120,000	96,000	3,000 × 32名
特別講演会費	0	23,745	
見学会費	0	24,320	
雑費	10,000		
予備費	100,000		
合 計	280,000	183,263	

## (その他のシニア会関係発生費用)

費 目	支 出	収 入	費用負担先
卒業研究発表講演会昼食代	14,400		関東学生会(24名分)
おもしろメカニカルワールド	120,943	38,500	参加費 500 × 77名 材料費, 輸送費等
学生交流会	36,854	2,000	参加費(1名分) 交通費, 会場費等
合 計	172,197	40,500	

関東支部シニア会規則の改定案を踏まえて2018年度のシニア会の体制案は下記とする

(シニア会運営委員会で選任)

会 長	村上 俊明	(現幹事)
副会長	中山 良一	(現副会長)
幹 事	野口 昭治	(現委員)
顧 問	本阿弥 眞治	(現会長)
委 員	嶋原 正義	(現委員)
委 員	高橋 昭夫	(現委員)
委 員	中村 城治	(新任)
委 員	笠井 憲一	(新任)

以上, 任期は2年とし再任は1回まで

(支部運営会で選任)

監 事  
支部シニア会担当幹事  
学生会担当幹事

以上, 任期は原則1年とし再任は1回まで

ご清聴ありがとうございました